

台風19号被災地・被災者支援対策について（概要版）

2019年10月30日
NPO法人うつくしまNPOネットワーク
事務局

台風19号及びその後の豪雨などで被害にあわれました皆様に対し、心からお見舞い申し上げます。

当会として、ささやかですが、下記のような3つの支援策を実施します。関係するみなさんのご利用をお願いいたします。

（1）被災したNPO法人（福島県内限定）の支援

復旧・復興のために、金融機関から借り入れた際の金利の一部を補填する支援。金融機関の紹介を含む。

（2）被災地の調査を希望する研究者などの支援

いわき市内で、一日コース、二日コースの調査の案内を無料で実施。

ただし、いわき市までの交通費、宿泊費は負担していただく。いわき市以外の対応は、後日企画することとする。実施するかどうかは未定。

研究者とは、大学、研究機関、シンクタンク、NGO／NPOに所属している人。

（3）被災地での支援活動を希望する個人、団体のサポート

1週間、2週間単位で、1人から2人程度の範囲で、宿泊施設（郡山市内。当会事務所の2階の一室）を無償提供。

寝具あり。駐車スペースあり。空調、テレビ、キッチン、風呂（湯舟・シャワー）、トイレ付きです。WiFiあり。

■期限2020年3月31日（火）までを予定しています。

■問い合わせ

〒963-8835 福島県郡山市小原田2-19-19

電話：024-953-6092

メール：uketsuke@utsukushima-npo.jp

被災したNPO法人（福島県内限定）の支援

【NPO法人うつくしまNPOネットワーク（UNN）からのお知らせ】

現在、福島県内では920のNPO法人が活動しています。（2019年5月31日現在、福島県文化振興課公表データ）

台風19号によるNPO法人の被害状況の調査などは不十分ですが、浜通り、中通りを中心に、かなりのNPO法人が罹災しています。中には、床上浸水2メートル以上とか、水浸しの事務所、作業場（授産所を含む。）などを「放棄」して、新しいところに事務所、作業場を移設する動きもあります。

当会は、そのようなNPO法人の資金調達を、利息などの一部補填という形で支援させていただきます。

（1）対象

福島県内のNPO法人

例外として、福島県にゆかりが深いNPO法人も対象にさせていただきます。

対象地域は、千葉県、長野県、茨城県、栃木県、宮城県です。

（2）利息などの補填の範囲

金融機関に支払う利息および福島県保証協会に支払う保証料とします。

補填率は、個別の相談、面談で決定します。

福島県外のNPO法人の場合は、保証協会による保証料は、補填の対象になりません。利息のみが対象になります。

（3）手続き

下記の事務局に、金融機関から借り入れる予定であることをお知らせください。手続きなどについての詳細を、ご説明させていただきます。

既に、借り入れをしてしまったNPO法人も該当します。ただし、台風19号に係る借り入れのみが対象です。

手続きは、簡略です。

（4）申し込み

NPO法人の理事長（あるいは代表理事）と面談し、その時にお申し込みいただきます。

遠方の場合は、電話、メールで対応させていただきます。必要な場合は、当会から訪問させていただきます。

（5）申し込み期限

2020年3月31日（火曜日）までとします。

(6) 問い合わせ

〒963-8835

福島県郡山市小原田2-19-19

NPO法人うつくしまNPOネットワーク (UNN)

事務局

電話：024-953-60923

メール：uketsuke@utsukushima-npo.jp

被災地の調査を希望する研究者などの支援

【NPO法人うつくしまNPOネットワーク（UNN）からのお知らせ】

研究者を対象に、いわき市内の案内を無償提供します。
視察先については、一部、いわき市以外も含みます。

この支援策の狙いは、専門家（研究者）の目で、台風19号の被災地・被災地を視察、見分し、専門家の知見を得ることを目的としています。

（１）対象

研究者とは、福島県外の、大学、研究機関、シンクタンク、NGO／NPOに所属している人。

上記以外の人で、視察を希望の人は、問い合わせください。

（２）視察のコースについて

いわき駅を起点とします。

コースの概要は、別紙を参照してください。

可能な限り、視察コース、視察月についての希望をお聞きします。

遠慮なく、希望をお知らせください。

（３）費用について

視察の案内は無料です。

ただし、いわき駅までの旅費、および宿泊費については、原則自己負担です。

特別な事情がある人、学生の場合は、ご相談ください

（４）案内方法

当会のいわきスタッフが、普通乗用車でご案内します。

ですので、定員は、1名から最大4名です。

ただし、視察希望者がレンタカーなどを借りて視察する場合、その視察に添乗員として同乗することも可能です。この事について、要相談です。

（５）いわき市以外の視察について

現時点では、いわき市内の視察には、対応していません。

（６）視察の報告について

研究者のそれぞれの立場での研究成果、調査報告などをまとめていただき、そのことをご提供ください。

（７）申し込み期限

2020年3月1日（日）までとします。

（８）問い合わせ

〒963-8835

福島県郡山市小原田2-19-19

NPO法人うつくしまNPOネットワーク（UNN）

事務局

電話：024-953-60923

メール：uketsuke@utsukushima-npo.jp

視察コースの素案

■一日コース（10時～20時）

(1) 始発 いわき駅（待ち合わせ時刻：9時45分）

(2) いわき駅⇒小川支所近辺 夏井川氾濫

下小川地区 夏井川沿い農家

① ギ栽培農家ハウス全壊

② 有機栽培農家 畑・家屋床上浸水

(3) 昼食・道の駅よつくら

又は くさの根（食事処）断水被害

(4) 午後

四倉地区 ワンダーファーム 25日豪雨

田んぼアート 田んぼの浸水

(5) 続いて

平窪住宅街

好間町 重度心身障がい児デイサービス 好間川氾濫浸水

社協ボランティアセンター

NPO法人空き家バンク・・・住宅状況

(6) その他

ボランティア支援活動団体・人との懇談

■二日コース

(1) 一日目（10時～20時）

いわき駅⇒ 相馬市 小泉川・宇田川氾濫

南相馬市 新井田川氾濫

青田由幸さん聴き取り

浪江町 ⇒いわき湯本

湯本町内浸水被害

草木台 支援物資センター

内郷 文化財床下浸水 白水阿弥陀堂
懇談 子ども食堂
子どもの一時預かり活動（浸水家族の）

★いわき市内のみの視察の場合

いわき駅⇒勿来⇒遠野地区

湯本町内浸水被害、草木台：支援物資センター

内郷 文化財床下浸水 白水阿弥陀堂 町内

平地区 小島地区・谷川瀬地区、市役所近隣の浸水地区

懇談 子ども食堂・子どもの一時預かり活動（浸水家族の）
わき市カーシェアリングについて

（４）二日目（１０時～２０時）

いわき駅⇒小川支所近辺 夏井川氾濫

下小川地区 夏井川沿い農家 ①ネギ栽培農家ハウス全壊

②有機栽培農家 畑・家屋床上浸水

昼食・・・道の駅よつくら 又は くさの根（食事処）断水被害

四倉地区 ワンダーファーム 25日豪雨

田んぼアート 田んぼの浸水

平窪住宅街

好間町 重度心身障がい児デイサービス 好間川氾濫浸水

社協ボランティアセンター

NPO法人空き家バンク・・・住宅状況

（ボランティア支援活動団体・人との懇談）

台風19号の被災地での支援活動を希望する個人、団体のサポート

【NPO法人うつくしまNPOネットワーク（UNN）からのお知らせ】

台風19号、その後の低気圧による豪雨などで被災した福島県内で支援活動を希望する個人、団体のみなさんの活動をサポートさせていただきます。

主なるサポートは、活動拠点（宿泊施設）の無償提供です。

- (1) 提供場所 郡山市内の一室
具体的には、NPO法人うつくしまNPOネットワーク（UNN）事務所の2階です。
- (2) 設備
寝具あり。
空調、テレビ、キッチン、風呂（湯舟・シャワー）、トイレ付きです。Wi-Fiあり。
（現時点では、洗濯機はない。必要であれば、装備する。）
駐車スペースあり。
- (3) 対象
福島県外のNPO／NGOに所属する人で、所属団体の推薦がある人1名。ただし、同じ団体、同姓で、「雑魚寝」ができる人たちはグループでの利用も可。その場合、4～5名程度。
- (4) 期間
1週間、2週間、1か月の単位（1日とか、2日は不可）
- (5) 期限
2020年3月31日（火曜日）まで。
- (6) 問い合わせ
〒963-8835
福島県郡山市小原田2-19-19
NPO法人うつくしまNPOネットワーク（UNN）
事務局
電話：024-953-60923
メール：uketsuke@utsukushima-npo.jp